



塚脇小学校だより

寺山



学校 HP

学校教育目標

学びを生活に
いかす子の育成

51名の門出を祝して～令和7年度卒業式～

3月24日、穏やかな春の日差しに包まれ、51名の卒業生が塚脇小学校を巣立ちました。

この一年、6年生は常に全校の先頭に立ってくれました。一年前の入学式準備で見せた凛とした姿、クロムブックを文房具のように使いこなし自ら授業を創り上げた「学びのアップデート」、そして自分たちで言葉を紡いだオリジナルソングの作成。こうした卒業生の「主体性」こそが、本校の誇りです。式では、自信に満ちた態度で証書を受け取り、合唱「正解」の力強くも澄んだ歌声で、会場全体を深い感動で包み込みました。

その姿を、在校生代表の5年生も真剣なまなざしで見つめていました。5年生はナレーションやBGMの操作を自ら担い、最高学年のバトンをしっかりと受け継ごうとする強い意志を感じさせてくれました。

「昨日の自分」に挑戦し続けた卒業生。新たなステージでも自分と仲間の良さを信じ、自分だけの宝物を見つけてください。皆さんの未来が輝くものであることを、ずっと応援しています。



6年生を送る会

卒業式の前日6年生を送る会を行いました。卒業式に出席しない1年生から4年生にとっては6年生と過ごす最後の時間です。各学年とも工夫を凝らし、呼びかけやオリジナルの出し物を6年生にプレゼントしました。新児童会が中心となったこの企画、進行役にも工夫の跡が見られました。

1年生 クイズ



2年生 ダンス



3年生 クイズ



4年生 ダンス



5年生 呼びかけ



6年生 劇と合唱



季語は体験！「塚脇っ子」の感性が全国の頂点へ

久留島武彦賞（最高賞） やぎさんにたべられちゃったママのふく 岩田光来さん（1年）

牧野桂一賞（選者賞） 夏休みじいじといっしょにつるをおる 小野田怜花さん（2年）

第43回久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会において、本校児童が晴れの栄誉に輝きました。

国内外から寄せられた1万句を超える膨大な応募作品の中から、本校の2名の作品が、大会の最高位である「重賞（じゅうしょう）四賞」に選出されました。わずか4つしかない主要な賞のうち、2つを本校児童が占めるといふ、まさに快挙といえる結果です。

テレビ等でも活躍される俳人の夏井いつき氏は、「季語を知ることは知識ではない。体験である」と言われました。本校が推進する「デジタルとアナログのベストミックス」は、ICTを文房具のように使いこなす一方で、五感を研ぎ澄ます「本物の体験」を重視する教育活動です。今回の受賞は、日々の生活体験の中で心が動いた瞬間を大切にする、塚脇っ子の豊かな感性が実を結んだ結果であり、学校全体の大きな誇りです。久留島先生の「継続は力なり」の精神を胸に、これからも体験を通じた「言葉の力」を伸ばし、心豊かな子どもたちを育ててまいります。

受賞されたお二人、本当におめでとうございます！

地域の方と楽しむ「昔からつたわる遊び」

2月17日（火）、1年生が地域の方々20名をゲストティーチャーにお迎えし、「昔から伝わる遊び」を体験しました。

けん玉やお手玉、めんこなど6種類の遊びに挑戦。地域のみなさんにコツを教わりながら、15分ずつ交代ですべての遊びを楽しみました。

優しく温かな交流を通じ、子どもたちの弾けるような笑顔があふれる素敵な時間となりました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



「本物の声」が育む豊かな感性 ～ひこわの会～

3月2日（月）、2年生を対象に「語りべひこわの会」の皆様によるおはなし会を開催しました。口演や紙芝居、エプロンシアターなど、五感を刺激する多彩な演出に子どもたちは夢中。久留島武彦先生にちなんだ会の名（ひこわの会）の通り、温かな「わ（話・和・輪）」が広がるひとときでした。「いいことをすれば自分に返る」とかさじぞうの物語から学び、想像力を膨らませた子どもたち。読書への意欲も高まる貴重な機会となりました。ひこわの会の皆様、お忙しい中ありがとうございました。



地域の方からのうれしいお知らせ

3月12日、地域の方から大変嬉しいお電話をいただきました。昨日の下校時、東日本大震災のサイレンが鳴った際、下校中の児童がその場で立ち止まり、静かに黙祷を捧げる姿が素晴らしかったとお褒めの言葉でした。学校の児童玄関付近でも、同じように静かに黙祷を捧げる子どもたちの姿がありました。子どもたちの思いやりのある立派な態度を誇りに思うとともに、日頃から温かく見守ってくださる地域の皆様に心より感謝申し上げます。

入選おめでとうございます！

【第77回大分県学校書写書道展】

金賞 2年 齋藤桃佳さん
 3年 川崎麻衣子さん
 4年 瀧石佑乃さん
 4年 川野里紗さん
 5年 小野絢翔さん

【第44回大分県ジュニア美術展】

推奨 1年 山下咲穂さん
 2年 繁田侑実さん
 6年 高倉利音さん

縦割り班お別れ集会

これまで共に活動してきた縦割り班のお別れ集会を行いました。6年生には、下級生から感謝の言葉と手作りのメッセージカードをプレゼント。6年生の誇らしげで、でもちょっぴり寂しそうな表情が印象的でした。この一年間、異学年での交流を通して育んだ「思いやりの心」を、それぞれの学年が次のステップへ繋げていくことを期待しています。



有志で広がる「あいさつ運動」

毎朝、校門に爽やかな声が響いています。きっかけは、1学期に1人の5年生が始めた「あいさつ運動」でした。

その姿に心を動かされた4年生たちが3学期から自主的に

に加わり、今では多い時で8名ほどが並びます。

毎朝8時からの20分間、自分たちで時間を見つけて立つ姿は、本校がめざす「自ら考え、行動する姿」そのものです。子どもたちの明るい声が、塚脇小学校の朝をより一層輝かせてくれています。



シリーズ⑥ Happy Smile 塚脇小 (委員会活動紹介)

塚脇小学校では、「誰もが過ごしやすい塚脇小学校を、自分たちの手で創りあげる!」という目標に向かって、5・6年生を中心として、執行部のほかに7つの委員会が組織され活動を行っています。シリーズでこれらの委員会活動(児童会)を代表児童が紹介していきます。

最終回は、体育委員会です。

【体育委員会の活動】

体育委員会は『みんなの笑顔のために自分たちで安心安全な学校をつくろう』をテーマに活動をしています。毎日、サッカーコートや体育館使用学年の掲示を変更したり、休み時間に学校の見回りをしたりしています。曜日担当がルールを守って遊んでいるか、怪我なく仲良く過ごせているかなどを確認し、日誌に記録しています。



月一回の委員会で、みんなで日誌の記録を共有し、良い点や悪い点をみつけ、改善するように話し合っています。

ボール点検ややってみようタイムの企画・運動会の体操・マラソン大会の準備、開閉会式、片付け・体力アップの取り組みなど、みんなが笑顔で楽しく過ごせるように、工夫しながら、一人ひとり活動しています。例えば、マラソン大会の練習では、走った周数をフォームに打ち込み、本番まで走った距離が合計で何kmか記録され、表彰されることで、みんながやる気をもって取り組めるように工夫をしました。体育委員会は、これからも全校児童が、楽しく体力アップを目指せるように活動していきます。(溝口華央)

1年間の「がんばり」に拍手! 修了おめでとう

3月26日、令和7年度修了式を行いました。修了証書授与の後、「頑張った自分自身と、切磋琢磨した友だちに拍手を送ろう」と伝え、昨日の自分を一歩超えようと歩んだ皆さんの成長を讃えました。昨日の自分を超えようと励んだ経験は、皆さんの大きな自信となるはずです。明日からの春休み、安全に過ごし新年度への心の準備を整えてください。保護者・地域の皆様、一年間のご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

「1年間、学校へのご支援・ご協力本当にありがとうございました!」

*****【今後の主な予定】*****

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 4月 9日(木) 新年度始業式 | 4月23日(木) 全国学力学習状況調査(6年) |
| 4月13日(月) 入学式 | 4月24日(金) PTA総会、学年始学級懇談会 |
| 4月16日(木) 県学力定着状況調査(5年) | 4月28日(火) お迎え遠足 |